

II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

5 英語

(1) 正答率

問題	配点	正答		一部正答		誤答		無答		通過率 率=得点計 (人数×配点) (%)	
		数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)		
1	No. 1	2	316	96.0	0	0.0	13	4.0	0	0.0	96.0
	No. 2	2	274	83.3	0	0.0	55	16.7	0	0.0	83.3
	No. 3	2	156	47.4	0	0.0	172	52.3	1	0.3	47.4
	No. 4	2	210	63.8	0	0.0	119	36.2	0	0.0	63.8
	No. 5	2	202	61.4	0	0.0	126	38.3	1	0.3	61.4
	No. 6 (1)	3	177	53.8	0	0.0	152	46.2	0	0.0	53.8
	No. 6 (2)	3	124	37.7	0	0.0	203	61.7	2	0.6	37.7
	No. 6 (3)	3	221	67.2	0	0.0	106	32.2	2	0.6	67.2
	No. 7 (1)	3	59	17.9	29	8.8	186	56.5	55	16.7	22.4
	No. 7 (2)	3	128	38.9	34	10.3	95	28.9	72	21.9	45.5
No. 7 (3)	3	31	9.4	63	19.1	140	42.6	95	28.9	21.9	
2	A	3	140	42.6	35	10.6	144	43.8	10	3.0	47.7
	B	3	213	64.7	19	5.8	77	23.4	20	6.1	68.4
	C	3	25	7.6	99	30.1	188	57.1	17	5.2	24.5
	D	3	202	61.4	27	8.2	79	24.0	21	6.4	66.7
3	問1	3	142	43.2	7	2.1	170	51.7	10	3.0	44.2
	問2	3	218	66.3	0	0.0	109	33.1	2	0.6	66.3
	問3	3	251	76.3	0	0.0	76	23.1	2	0.6	76.3
	問4	3	66	20.1	6	1.8	242	73.6	15	4.6	20.9
	問5	3	36	10.9	34	10.3	169	51.4	90	27.4	15.6
	問6	3	203	61.7	0	0.0	124	37.7	2	0.6	61.7
4	問1	3	216	65.7	0	0.0	113	34.3	0	0.0	65.7
	問2	4	265	80.5	0	0.0	64	19.5	0	0.0	80.5
	問3	4	203	61.7	0	0.0	124	37.7	2	0.6	61.7
	問4	3	194	59.0	0	0.0	134	40.7	1	0.3	59.0
	問5	4	64	19.5	4	1.2	251	76.3	10	3.0	20.4
	問6	4	188	57.1	55	16.7	51	15.5	35	10.6	67.0
	問7	4	85	25.8	139	42.2	34	10.3	71	21.6	49.1
	問8	4	58	17.6	33	10.0	150	45.6	88	26.7	23.0
5	問1	3	205	62.3	0	0.0	121	36.8	3	0.9	62.3
	問2	3	228	69.3	0	0.0	96	29.2	5	1.5	69.3
	問3	6	38	11.6	198	60.2	48	14.6	45	13.7	41.6

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

1

会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る。

No. 1～3 これからの予定、親子が会話をしている場所、クラスメイトがバスを待っている場面等、日常的な場面の会話を聞いて、絵の中から、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 4、5 買い物の場面や、先生のためにドアを開けてあげる場面といった、日常生活における「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。

No. 6 Mr. Smithがイングリッシュサマースクールの説明を英語でおこなっている。その説明を聞き取

り、内容についての質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 7 TomとMegumiが日曜日の予定について会話をしている。その会話を聞き取り、内容について英語で答える。

- 2 ファミリースポーツイベントの案内を英語で作成することを想定し、日本語のメモをもとに、空欄にあてはまる語をそれぞれ書き、英語による案内を完成させる。
- 3 中学生のMikikoは、夏休みに友達Carolと共に祖父の家を訪れ、そこで田植え体験をする。慣れない作業で大変だったが、二人はとても貴重な体験をした。後日、Mikikoの家に、祖父から、彼女たちが植えた米が送られてきて、MikikoはCarolにも届ける。Carolは、自分が植えた米を手にしてとても喜び、また来年も一緒に行きたいと語る。この英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る。
- 4 MikuとJoseph、子育て支援センターのMs. Aidaの会話やメールである。子育て支援センターでのボランティアについての複数のまとまりのある英文を読み、あらすじや大切な部分を把握し、場面に応じて英語で適切に表現する。
- 5 アメリカのイースターについての英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る。また、日本を訪れるならどの季節がよいかについて、2つの条件に従って、3文以上の英語で書く。[条件]①として、1文目はどの季節がよいかということを書き、[条件]②として、2文目以降はその理由が伝わるように2文以上で書くように指示されている。

(3) 所見・解説

- 1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである。
- No. 1 会話を聞いて、Harukoが今日やらなくてはならないことを表す絵を選ぶ問題である。会話では、数学の宿題がたくさんあり、今日それをやらなくてはならないと言っているため正答はDである。“I have to do it today.”のitが何をさしているのかを正確に理解することで正答を導くことができる。
- No. 2 親子の会話を聞いて、親子が話している場所を選ぶ問題である。本の場所や借りることのできる冊数について話していることから、正答はCの図書館である。会話全体をとらえたうえで、bookやborrow等の語を手がかりに正答を導くことができる。
- No. 3 会話を聞いて、どの人物について話しているかを答える問題である。本を持っている男の子の隣に立っている女の子と述べているので、正答はAである。
- No. 4 買い物で、気に入ったTシャツのサイズが小さすぎたという場面である。この場面でLisaが店員に何と言うかを問う問題である。より大きなサイズがあるかをたずねるBが正答である。会話の流れを適切に聞き取ることが必要である。
- No. 5 Tomが教室の入り口で、たくさんのノートを抱えているMs. Greenに出会う場面である。TomはMs. Greenを手伝いたいと思っているが、そのような状況で何と声をかけるかを問われている。正答はCである。何を問われているかを理解し、状況に応じて適切な表現を選択することが大切である。
- No. 6 サマースクールの初日に、活動の案内をするMr. Smithの話の聞き取り、英語の質問に対する答えとして最も適切なものを選ぶ問題である。
- (1) 質問は「午前中のそれぞれの授業の時間はどれくらいの長さか」というものである。Mr. Smithの発言“Each class is fifty minutes long.”から、正答はBである。How longの意味を理解し、何を問われているかを理解することで、正答を導くことができる。
- (2) 質問は「lunch roomがどこか」というものである。Mr. Smithが“You're in building 3 now,”と言っており、lunch roomについて“It's on the first floor of this building.”と言っているため、正答はAである。メモを取るなどして、情報を整理しながら聞く練習をすることで、必要な情報を捉えることができると考えられる。
- (3) 質問は「明日の授業で生徒たちは何をするか」というものである。“In your class tomorrow, you will talk about your favorite things at the museum.”と話していることから、正答はDである。

No. 7 Tom と Megumi の会話を聞き取り、英語の質問に対する答えとなる英文を完成させる問題である。

(1) 質問は「日曜日、文化祭の後に Tom は何をするか」というものである。Megumi が “We can go shopping after the school festival.” と言った後に、Tom が “That sounds great.” と言っているので、正答は go shopping 等となる。

(2) 質問は「Tom は去年、誕生日プレゼントとして祖母に何をあげたか」というものである。“Last year, I gave her a lot of flowers.” とあるので、正答は flowers となる。

(3) 質問は「日曜日に Tom と Megumi は 9 時 40 分までにどこに着いていなければならないか」というものである。“We have to arrive at the station by nine forty on Sunday.” とあるので、正答は the station となる。

「聞くこと」の学習においては、No. 1 のような短めの英語を聞くことから始め、英語を聞き取り、絵や図表等の情報につなげることに慣れていくことが重要である。No. 4 や No. 5 では、特定の場面での表現を正確に理解することが大切である。No. 6 や No. 7 のようなまとまりのある英語では、概要や要点を正確に把握するために、メモをとる等の工夫をして、必要な情報を聞き取る力を身に付けたい。

2 身近な場面に関する英文を完成させることを通じて、基本的な語の使い方や綴りが定着しているかをみようとしたものである。

A 「走る」run の綴りを問う問題である。無答は少なかったが、running とする誤答が多くみられた。基本的な動詞の使い方の定着を図りたい。

B 「12 月」December の綴りを問う問題である。Desember, Decenber, Desenber のような綴りの誤りが多くみられた。基本的な語彙について正確に書くことのできる力を身に付けたい。

C 「雨が降る」rains の綴りを問う問題である。rainy とする誤答が多く、併せて、rain とする誤りもみられた。基本的な語の品詞についての理解とその用法の定着を図りたい。

D 「水曜日」Wednesday の綴りを問う問題である。誤答として、Wensday, Wendeday, Wedenesday のような綴りの誤りが多くみられた。基本的な語彙の定着を図りたい。

3 まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る力と、基本的な語や文法項目が定着しているかをみようとしたものである。

問 1 単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。正答は showed us how to grow である。「主語＋動詞＋間接目的語＋how to 不定詞」の文構造で英文を完成させることができる。誤答には、how to showed us grow, showed how to grow us, how to grow us showed など、間接目的語と how to 不定詞の位置が理解できていないものが多くみられた。

問 2 話の流れをふまえて、本文中の A ～ C のいずれかに、The rice was better than the rice I usually ate! という 1 文を補う問題である。“My grandfather made us rice balls for lunch.” につなげると自然な流れになり、C が正答となる。

問 3 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な英語を選ぶ問題である。第 1 段落では Mikiko が Carol を気遣い、“Are you OK? Do you want to take a break?” と声をかけている。そこから、Carol の状態を表す語を選択すると、正答の A を選ぶことができる。

問 4 指示された語を適切な形に変える問題である。Thank you for ～ing の表現をふまえて、正答は helping となる。誤答の中には過去形の helped と答えたものが最も多く、helps と答えたものもあった。日常生活でよく用いられる慣用表現の定着を図りたい。

問 5 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。Mikiko の祖父が、電話で、Mikiko に何をするように頼んだかが問われており、本文中の “Share the rice with Carol, please.” が質問に対する答えとなる箇所である。よって、to share the rice with Carol が正答となる。

問 6 本文の内容と合う英文を選ぶ問題である。第 2 段落で、正午頃、Mikiko たちは、田んぼのそばで昼食をとったことと、祖父が昼食におにぎりを作ってくれたことが述べられている。よって、U が正答となる。

4 複数のまとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしたものである。

- 問1 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な英語を選ぶ問題である。Mikuの発言 “I’m going to the Child Care Support Center.”から、場所が問われていることがわかる。よって、正答はエとなる。
- 問2 本文①の内容と合うように、Miku goes to the Child Care Support Center because に続く最も適切なものを選び英文を完成させる問題である。本文①の8行目、9行目の Mikuの発言 “I don’t have any brothers or sisters. The center needed some volunteers to take care of the small children, so I started doing volunteer work to help the children there.”から、正答はイとなる。
- 問3 本文②の内容と合うように、地図中から Child Care Support Center がある場所を選ぶ問題である。本文②の5行目から8行目に “When you get to the station, go straight to the post office. From there, keep walking and then turn left after you go across Tsukushi River. Then, walk along the river and the center will be on your right. The center is next to a park.” とあることから、正答はウとなる。
- 問4 本文②の内容と合うように、On his first day of volunteer work, Joseph must bring に続く最も適切なものを選び英文を完成させる問題である。本文②の8行目から10行目に “On your first day of volunteer work, you don’t have to change your clothes at the center, but don’t forget to bring your lunch to eat with the children.” とあることから、正答はアとなる。
- 問5 単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。正答は have never read them to the childrenである。have never read「読んだことがない」という現在完了を用いた表現で英文を完成させることができる。
- 問6 下線部thatがさす内容を、日本語で答える問題である。正答例は、「ゆっくりと絵本を読むこと。」である。下線部thatの直前のMs. Aidaの発言 “Please read the picture books slowly.”から、正答を導き出すことができる。
- 問7 本文④の下線部 “Next time, I’d like to do something else at the center.”について、自分が子育て支援センターでボランティアをするとしたらどのようなことをしたいか、2文以上の英文で書く問題である。解答の仕方としては正答例にあるように、1文目は I want to sing songs with children.など、ボランティアとしてやりたいことを具体的に書き、2文目以降は、I am good at singing songs. など、その理由が伝わるように書く。誤答としては、文の構造が不完全なものがみられた。また、want to + 動名詞や、want toをwent toやwon’tとする誤りもみられた。
- 問8 自然な会話になるように空欄に4語以上の英語を書く問題である。空欄のある英文の次の発言に “At the end of this month.”とあることから、「再びセンターを訪れるのはいつですか」と質問をしていることがわかる。そのため、正答はWhen will you go等となる。誤答にはWhat, Where, How longなどの誤った疑問詞を用いているものや、When are you go, When will you workなどがあつた。また、無答も多くみられた。

⑤ まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る力と、与えられた〔条件〕に従い、まとまった内容の文章を英語で表現できるかをみようとしたものである。

問1 カレンダーを見て、本文の内容に合っている日付を答え問題である。“In 2019, it was on the third Sunday of April.”から、4月第三日曜日であることがわかる。そのため、正答は21（日）となる。

問2 本文の内容と合うものを選ぶ問題である。本文の8行目に “Last year, I put Easter eggs in the garden, but this year, I’m going to hide Easter eggs in the house.”とあることから、正答はエとなる。

問3 与えられた〔条件〕に従い、基本的な語彙や文法を活用して考えを適切に表現する問題である。解答の仕方として、①はどの季節がよいかということ、正答例のように、You shouldで書き始め、①に続く内容として一貫性があるように、②には理由を書くことがポイントである。

誤答としては、前置詞や冠詞の使い方に関する誤りや、文の構造が不完全なものが多くみられた。綴に関するものでは、よく用いる基本的な動詞や名詞に多くの誤りがみられた。また、複数形や大文字・小文字の使い方等でも誤りがみられた。

基本的な語彙や文法事項を含め、適切な表現や構成で文を書けているかに注意を払いたい。また、自分の考えや理由等が読み手に正しく伝わるように、文のつながりなどに注意して、一貫性のある文章を書く力を身に付けたい。